

【クリスマスマーケットでのテロ事件】

みなさんもニュース等でご存知だと思いますが、12月11日（火）の夜にストラスブールのクリスマスマーケットでテロが起きました。実はこの事件現場は私が住んでいる寮から徒歩で15分もかからない場所で、事件当日の昼に私も通った場所でした。事件が起こった時、私は寮の部屋におり、在ストラスブール日本大使館からきた緊急メールで事件のことを知りました。そのメールには発砲事件が起こったことや死亡者や怪我人が出ていること、犯人が逃走中のことなどが書いてありました。私もしばらくは寮にこもっていたように思ったのですが、どうしても行かなければいけない用事があったため2日後に用事ついでに事件現場も見してきました。クリスマスマーケット内に入るとき必ずカバンの中身をチェックされるのですが、正直テロ事件前はわりと適当だった（チャックを開けて見せたらすぐOKが出ていた）のですが、テロ事件後はしっかり底まで見られ、またコートやジャンパーなどの中もチェックされるようになりました。スーツケースをもった人ももちろん中身をチェックされるので大変そうでした。事件2日後のクリスマスマーケット内は旅行者などある程度の人はいましたが、やはりいつもより人は少なかったです。また、テレビ局の人に加えてたくさんの警察官や軍人さんなど銃をもった人を見かけました。道沿いのお店はやっているところもありましたが、クリスマスマーケットの屋台はどこも閉まっていて寂しい雰囲気が漂っていました。また、事件現場やクレベール広場（地図の赤い丸の☆）にはロウソクやお花、国旗や犠牲になった人へのメッセージなどが数多くお供えしてあり、たくさんの方がお祈りをしていました。犯人はその後射殺されましたが、事件後はスーパーやショッピングモールなどお店に入るたびにカバンの中身をチェックされました。またクリスマスマーケット内は警察の車も常に見かけるようになり、より警備が厳しくなりました。被害に遭われた方にお見舞い申し上げますと共に、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。また今後このような痛ましい事件が起こらないことを祈っております。



事件現場に手向けられたお花やロウソク



12月13日のストラスブール大聖堂前
ちょうど撮影をしていました。



12月13日のplace Kléberのクリスマスマーケット。どのお店も閉まっています。



事件後のクリスマスマーケット内の警察の車。ここ以外にもたくさん待機しています。



place Kléberの銅像の前。たくさんのお花やロウソク、メッセージがあります。

【Marche de Noël のツリーの準備について】

“ストラスブールの Marche de Noël”で3つのクリスマスツリーを紹介しましたが、1番大きいクリスマスツリーがあるクレベール広場（赤い丸の☆）の近くにはいろいろなお店がたくさんあるのでよく買い物に行っていました。そこへ行く度に1本の木がクリスマスツリーになっていく様子を撮影したので紹介します。

10月31日▶初めて変化に気づいたのはこの日です。ハロウィンの街を見ようと広場に出かけた時に剪定されているこの木を見つけました。写真には写っていませんが、高所



10月31日

作業車をつかってすごい量を剪定していたため近くには柵がしてあり「大掛かりな剪定だな。写真撮っておこう。」くらいの気持ちで撮りました。(ちなみに広場では特にハロウィンのイベントなどしておらず、お店に飾り付けがしてあるのと夕方に仮装した若者たちを見かけた程度でした。ハロウィンというよりもどちらかというとクリスマスの飾りつけをし始めているお店もありハロウィンよりもクリスマス準備という印象でした。)

11月6日▶この日は2台の高所作業車をつかって作業していました。またこの頃になるとたくさんのお店がクリスマスの飾りつけを始めていました。

11月9日▶この日も高所作業車を2台つかって剪定作業をしていました。

11月16日▶この日はツリーの飾り付けが始まっておりたくさんの車が止まっていた。またこのクリスマスツリーだけではなく周りの木も飾りつけが始まっていました。また街のいたるところで木の小屋を見るようになります。(この木の小屋がクリスマスマーケットの屋台になります。)

11月22日▶Marche de Noël 開催の1日前はツリーの飾り付けも終わり、木の下の方にも飾り付けがされていました。また試運転でイルミネーションも点灯していたりと翌日に向けて最終調整が行われていました。



11月6日



11月9日



11月16日



11月22日 ほぼ完成!

【クリスマスマーケットでの発見】

私がホットワインを注文しようと列に並んでいた時にあることを発見しました。それはお客さんが飲み終わったコップをお店の人に渡していることです。お店の人がそのコップを受け取っていたので、私はゴミをお店が捨ててあげるのかと思っていたのですが、お店の人はコップの数を数え、その後なんとそのお客さんにお金を渡していたのです。私は留学に行く前にドイツではリサイクルするとお金がもらえるという記事を見たことがあったので、これがそういうことかと思いました。ホットワインが入ったコップはしっかりしたプラスチックでできているため洗えば繰り返し使うことができます。日本の屋台では紙やろいプラスチックでできたコップなど捨ててリサイクルすることが前提になっています。その代わり捨てるところで燃えるゴミ、燃えないゴミなど種類分けされます。このクリスマスマーケット内にはいたるところにゴミ箱があります。しかし日本のように種類によって分けられることもなくすべてが同じところに入れられていました。まさかクリスマスマーケットでリサイクルの違いについて考えると思っていなかったのが良かったです。私はコップがかわいかったので記念に持って帰りましたが、こういう体験は日本ではあまりできないと思うので次回機会があれば私も実際にやってみたいと思います。



コップを返すと1つにつき1€が返ってくるという説明書きされた紙。仏語、独語、英語で書いてあります。

【おわりに】

ストラスブールの冬はほとんど毎日曇っていて憂鬱な気持ちになってしまいましたが、このクリスマスマーケットのおかげで楽しい12月を過ごすことができました。また日本のクリスマスとは違ういろいろな体験や発見ができとても良い経験になりました。これから本格的に寒くなっていきますが、元気で過ごせるよう頑張ります。それではまた! Au revoir!



スーパーで見つけた聖ニコラのチョコ。普通のサンタさんのチョコももちろんあります。